

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にできない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名		フロアスタンド		★お買い上げ日:	年	月	日
型番	TF-YN30BW-W	TF-YN30BW-K	保証期間:本体1年間(お買い上げの日から)				
品番	06-1487	06-1497					
お客様	(フリガナ)	様					
	★お名前						
	★ご住所 〒	—					
			電話	()	

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話	印

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
 ●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
048-992-3970 平日9:00~17:00
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

06-1487A



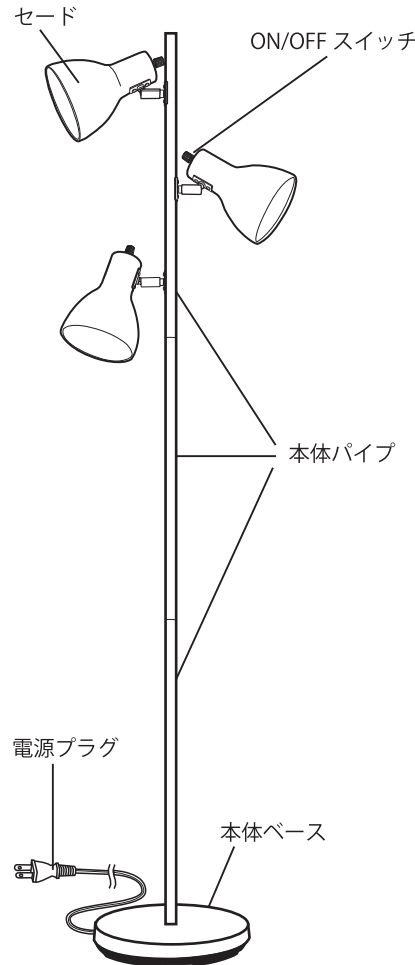
フロアスタンド

型番: TF-YN30BW-W/K
 商品番号: 06-1487/06-1497

保証書付 取扱説明書

この度はオーム電機のフロアスタンドをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、保証書(持込修理)も兼ねておりますので、大切に保存してください。

各部の名前(仕様)



電球の交換方法

※本体を組み立てたあとに電球を入れてください。

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電球を取付けるときは、ソケットへ垂直にまわして差ししてください。

注意

電源プラグをコンセントから抜いて、電球の取付・交換を行わないと、感電の原因になります。

仕様

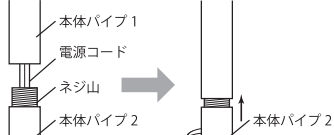
スイッチ	単独(ON/OFF)スイッチ×3
材質	スチール
本体サイズ(組立時)	約幅400×高さ1500×奥行254mm (セード:最大径125mm,高さ160mm)
電源	AC100V 50/60Hz
口金	E26
使用電球	白熱電球:40W以下 全長120mm 最大径65mm以下 (別売)
消費電力	120W MAX (40W×3)
電源コード長	約2m
質量	約4800g

※改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。

本体の組立方法

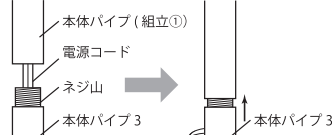
本体組立は下記の組立参考図①から⑤まで順番どおりに正しく組立てください。

組立①



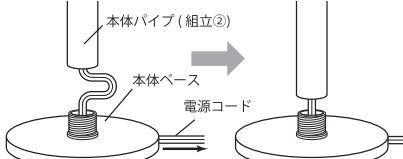
本体パイプ1を持って本体パイプ2のネジ山に合わせ、本体パイプ2を矢印の方向に回し、最後まで締めます。

組立②



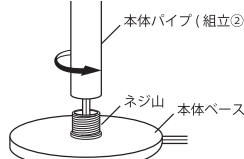
①で組立てたパイプを持ち、本体パイプ3のネジ山に合わせ、本体パイプ3を矢印の方向に回し、最後まで締めます。

組立③



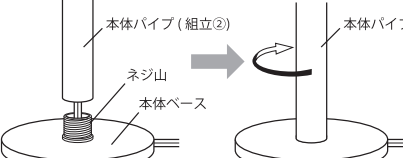
②で組立てたパイプを持ち、本体ベース側の電源コードを外に軽く引っ張り出します。

組立④



本体パイプの中の電源コードのねじれを軽減するために、組立てた本体パイプを矢印の方向に10回ほど回します。

組立⑤



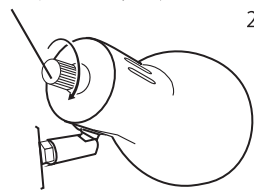
組立後の本体パイプを本体ベースのネジ山に合わせ、本体パイプを矢印の方向に回し、最後までしっかり締めます。

- 電源コードを切らないように注意しながら、確実にパイプどうしを接続してください。
- ※組立の際は上から順におこなってください。
- 長時間使用しない場合は安全のために電源コードをコンセントから抜いてください。

ご使用方法

ON/OFF スイッチ

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. ON/OFF スイッチで、点灯・消灯をします。スイッチを矢印方向に回すと「カチッ」と音がして ON・OFF が切り替わります。



点灯時は、照射物より20cm以上離してください。照射物の変形、変色、焼損、火災の原因となります。また、消灯直後は電球やその周りが高温になっています。やけどの原因となりますので、冷えるまで触れないでください。

！ お手入れ時の注意

水洗いはしないでください。感電、漏電のおそれがあります。また、故障の原因となります。シンナー、ベンジンなど揮発性の高い薬品、クレンザーなどは使用しないでください。器具が損傷したり、変質、変色の原因となります。

電球の交換、本器のお掃除をするときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま作業すると、感電故障の原因となります。

器具のお掃除は、定期的に行ってください。ほこり等が、過度にたまると火災の原因となります。

電源プラグは長時間差したままにしないでください。電源プラグの栓刃間に、ほこりや湿気が付いたまま放置すると火災の原因となります。定期的にお掃除を行ってください。

安全上のご注意 (安全のため、必ずお守りください。)

■ご使用前に、「この安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 警告** 取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重症を負うおそれがある内容を示しています。
- 注意** 取り扱いを誤った場合、ケガをしたり物的損傷を受けるおそれがある内容を示しています。
- 禁止の行為であることを告げるものです。
- 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

！ 警告 故障・事故・火災・感電・漏電の原因となります。

- カーテンなど、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。また、布や紙、ビニール袋など、燃えやすいものをシェードの上にかぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 設置や調節は、正しく行ってください。落下事故や火災、けがの原因となります。
- 水のかかる場所、湿気が多い場所では使用しないでください。感電事故や火災の原因となります。
- 電球を取付・交換する場合は、必ず器具の指定電球であることを確認してください。指定以外の電球を使用すると、器具の加熱、変形、火災の原因となります。
- 表示されている電圧を使用してください。火災の原因となります。

！ 注意 ヤケド・感電・ショートの原因となります。

- 点灯中や消灯直後は、シェードや電球が高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因となります。また、電球を交換する場合、シェードや電球が完全に冷えてから行ってください。
- 濡れた手で、器具や電源プラグを触らないでください。感電の原因となります。
- 光源を直接見ないでください。目の健康を損なうおそれがあります。
- 器具の隙間に金属類(ヘアピン、針金など)を差し込まないでください。感電の原因となります。
- 幼児・ペットなどのいる部屋で使用しないでください。感電、ヤケド、火災などのおそれがあります。
- 電球は、ガラス製品ですので、落下や衝撃、水をかけることなどはしないでください。また、電球が割れた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電事故の原因となります。
- 電源コードの上に物を置く、吊るす、固定する、はさむ、加工する、傷つける、折り曲げる、ねじる、引っ張るなどのことをしないでください。
- この製品は、室内専用です。屋外でご使用になりますとサビ、故障、感電事故の原因となります。
- 器具に異常がある場合、すぐに電源プラグを抜いてください。放置しますと火災の原因となります。

- ご自分で分解や改造はしないでください。感電事故、故障の原因となります。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って行きます。コードを持って引き抜いたりするとショートや感電、火災の原因となります。
- 長時間、ご使用にならないときはプラグを抜いてください。火災の原因となることがあります。